

MW2A

男性導尿・浣腸シミュレータ

△注意 | モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

取扱説明書

目次



- はじめに P.1
製品の特徴とご使用上の注意
- ご使用の前に P.2
セット内容
- 実習の準備（導尿・浣腸） P.3～P.8
- 実習にあたって（導尿・浣腸） P.9～P.10
- ご使用後の後片付け P.11～P.14
- 消耗品の交換 P.15～P.18
性器部皮膚・導尿口・弁の交換
- 故障かなと思ったら 裏表紙

● はじめに

このたびは、当社の「男性導尿・浣腸シミュレータ」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品は、導尿・浣腸手技上達を目的としたシミュレーションモデルです。医学・看護教育の実習教材としてご使用ください。

必ずお読みください

本来の使用目的以外にはご使用にならないでください。また、取扱説明書に記載された方法以外でのご使用による万一の破損や事故に関して、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

特 長

- 清拭から排尿の確認までの基本的な導尿手技や側臥位による浣腸手技が実習できます。
- 外性器の形状、尿道や膀胱を解剖学的に正確に再現しています。
- カテーテルを正しく挿入することで尿（水）の排出が確認できます。また、膀胱部が透明なため、バルーンカテーテルの挿入や留置の際、位置の確認も可能です。
- 実際の体位に近い状況での実習・膀胱圧迫の実習が可能です。

▲ 注意

● 取り扱いにご注意ください。

特殊軟質樹脂を使用していますので、落下や強い衝撃を与えると破損の原因となります。また皮膚部の脱着の際、無理な負荷がかかりますと破損しますので十分ご注意ください。

● 印刷物をモデル表面におかないでください。

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂にインクが吸収されて消えなくなります。

● 高温多湿を避けて保管してください。

使用後は、高温多湿や直射日光のあたる場所での保管は避けてください。
変形や故障の原因となります。

● 中性洗剤又はアルコールで拭き取ってください。

モデルの汚れは水又は中性洗剤で、汚れが落ちにくい場合はアルコールで拭き、ベビーパウダーを塗布しておいてください。シンナーなどの有機溶剤は、絶対に使用しないでください。

● ボールペンやサインペンで書き込まないでください。

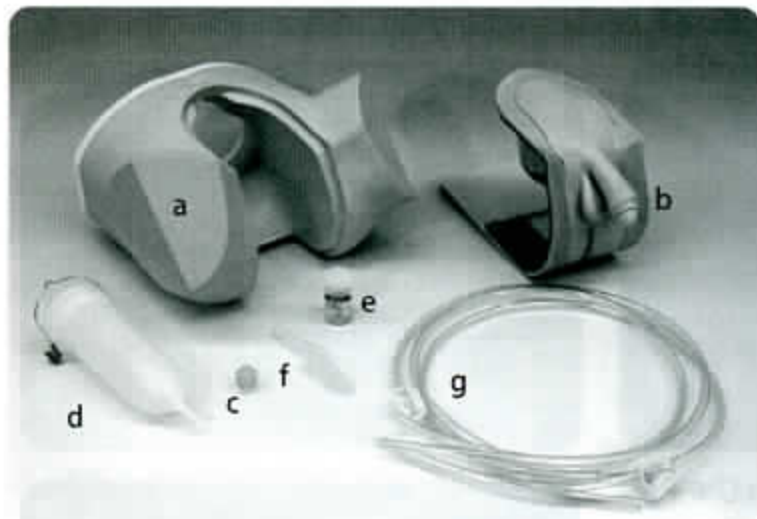
サインペン、ボールペンなどでモデルに書き込むと、インクが吸収されて消えなくなります。

● 表面が変色する場合があります。

長期間使用されない場合や経年変化で変色することがありますが、ご使用には差し支えありません。

セット内容と各部の名称

ご使用の前に、構成品が全て揃っているかご確認ください。



- a. 腰部モデル本体 1台
- b. 性器部（男性器）ユニット 1式
- c. 弁 3点
（1点は性器部ユニットに組み込み、2点は付属品）
- d. イルリガートル 1点
- e. 潤滑剤（オリーブ油） 1点
- f. 浣腸用直腸部 1点
- g. 排水ホース（給水・排水用） 計3本

取扱説明書

※給水・排水用のホース（各1本）にはチューブコック1点が付属しています。

性器部ユニット各部名称



消耗品一覧

コード番号	部品名
11381-300	導尿用交換弁（男女共通）6個組
11381-400	男性導尿・浣腸シミュレータ性器部皮膚 1枚
11381-500	男性導尿・浣腸シミュレータ尿道口 2個組



11381-300



11381-500

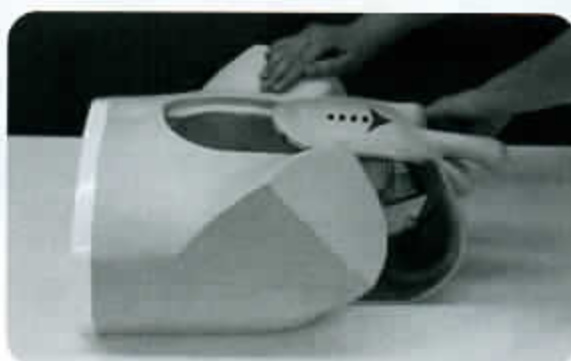
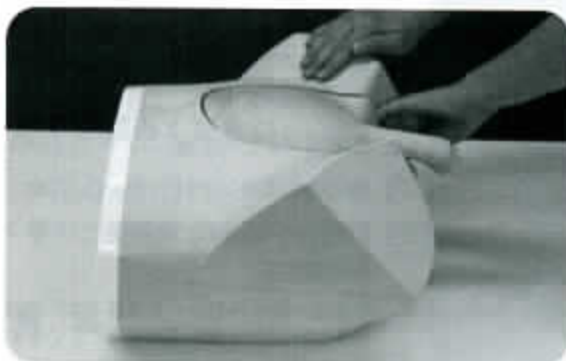


11381-400

1 構成部品を取り外し

1. 腰部モデル本体から性器部ユニットを取り外します。

腰部モデル本体の大腿部を外側に開けるようにして隙間をつくり、手を差し入れて腰部モデル本体から性器部ユニットを取り外します。



2. 性器部ユニットの構成部品を取り外します。

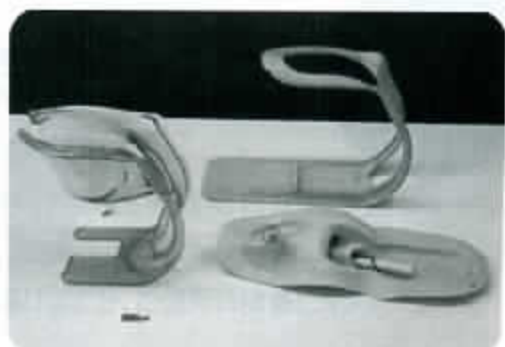
(ア) 性器部カセットと膀胱部カセットとを固定しているネジを反時計回りに回転させ取り外します。

(イ) 次に片手で膀胱部カセットごと性器部皮膚を持ち、性器部カセットの端を軽く持ち上げ性器部カセットとの間に隙間をつくり、性器部カセットから取り外します。

(ウ) 膀胱部カセットより性器部皮膚を取り外します。

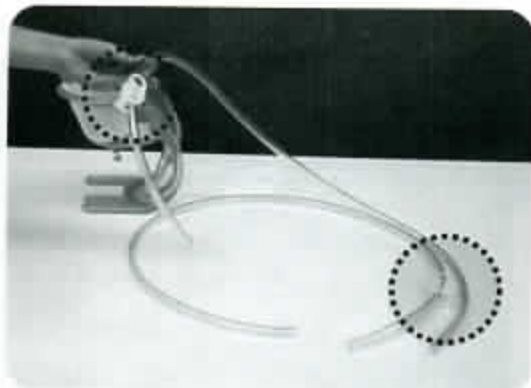


(エ) 皮膚をめくると尿道口が見えてきますので、并に固定しているクリップを指ではさんでゆるめ、弁部より尿道口を抜き取ります。



2 給水用・排水用ホースの接続

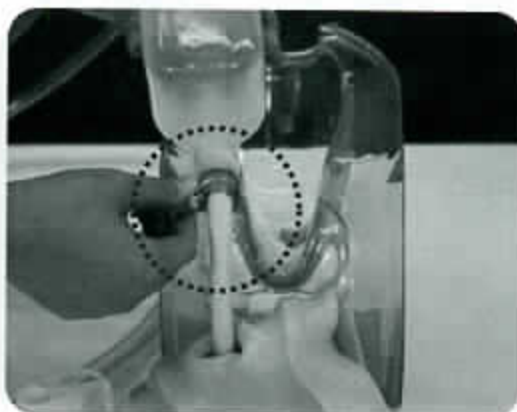
1. 膀胱部に排水・給水用ホースを取り付けます。2本のホースはどちらもチューブコックのついているホースを選び、チューブコックの位置を交互にします。



写真のように1本はチューブコックの近い側(排水用)を、1本はチューブコックの遠い側(給水用)のホースを接続します。



2. ホースを接続後、弁部分に尿道口を取り付けます。尿道口を弁に差し込み、弁部分から尿道口が抜けないように指でクリップをはさみ、尿道口と弁をしっかりと固定してください。



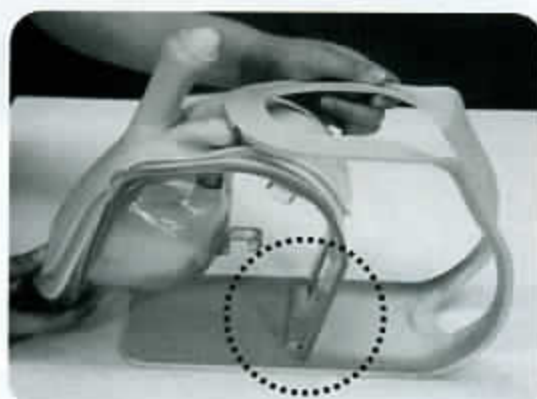
3 構成部品の組み立て

1. 性器部皮膚を取り付け、その後性器部カセットを取り付けます。

(ア) 尿道口を接続後、性器部皮膚を膀胱部を溝に沿って取り付けます。



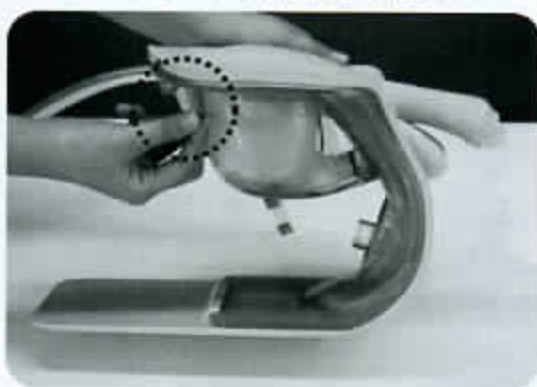
(イ) 性器部カセットの下部のツメ部分に膀胱カセットをひっかけ前方に押し込みます。



(ウ) 上の部分を隙間がないようしっかり性器部カセットにはめ込んでください。



(エ) 膀胱カセット下部より固定ネジを差し込み、時計回りに回転させねじ込み、カセットどうしをしっかりと固定してください。

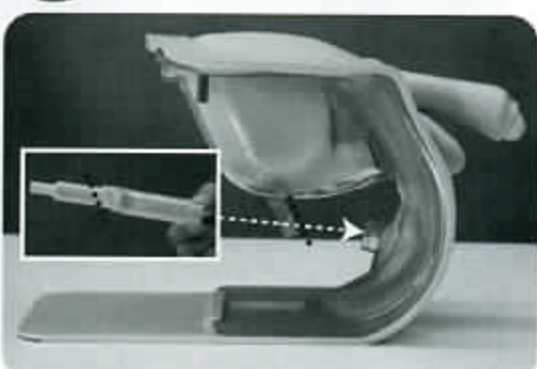


2. 浣腸の実習を行う場合

浣腸用直腸部と排水ホースを接続します。



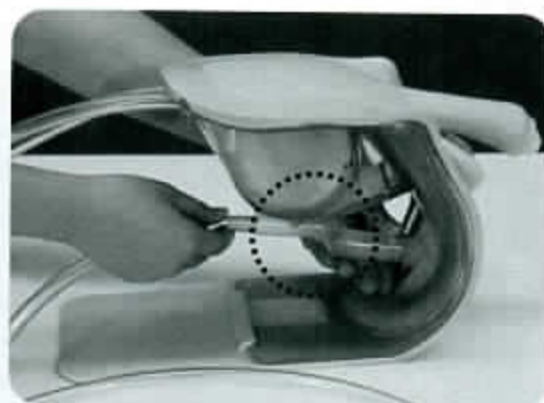
.....
注意 直腸部を取り付ける場合、直腸のクランク部分の角度と膀胱部カセット下部の取り付け用フックの角度が合う位置で取り付けてください。



4 直腸部の接続と本体へのセット

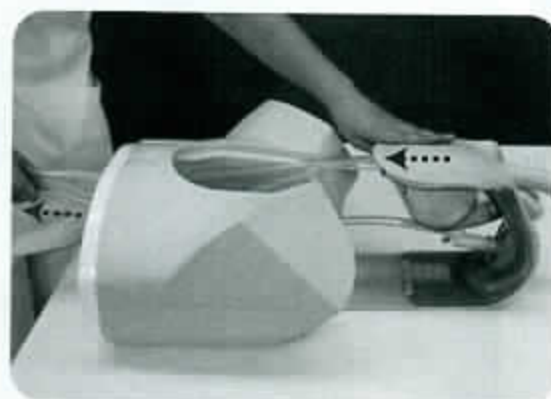
1. 直腸の接続（浣腸の実習を行う場合）

浣腸用直腸部を性器部ユニットの写真の位置に差し込み、膀胱部カセット下部にある固定具に直腸部をひっかけ固定します。

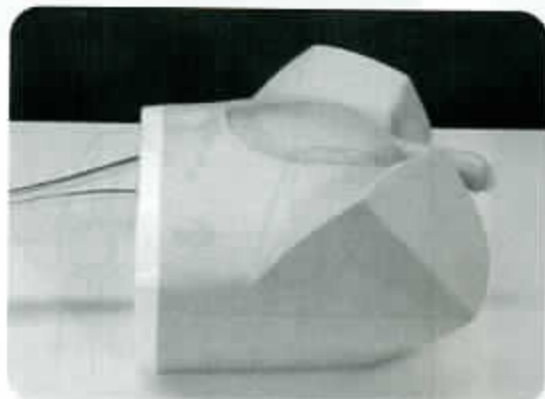


2. 性器部ユニットを腰部モデル本体に取り付けます。

性器部ユニットに取り付けた3本のホースをまとめて腰部モデル本体に通して、本体に性器部ユニットをはめ込みます。



本体部のセットは完了です。



5 イルリガートの接続および水の注入

1. 3本のホースのうち、給水用ホース(チューブコックが接続側に近いホース)をイルリガートルに差し込んでください。

(導尿実習を行う場合)

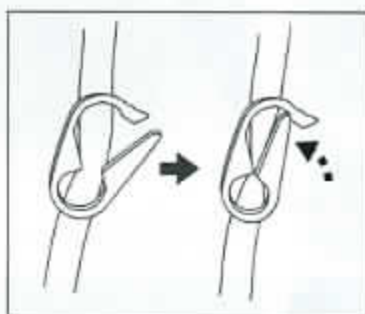


2. 導尿・浣腸の手技に応じて必要となる排水用ホース(導尿用、浣腸用)を排泄用のバケツに入れてください。



3. イルリガートルに水を注入する前に、膀胱に水が流れ出さないように給水用ホースのチューブコックをしっかり閉じてください。

(導尿実習を行う場合)



5 イルリガートの接続および水の注入

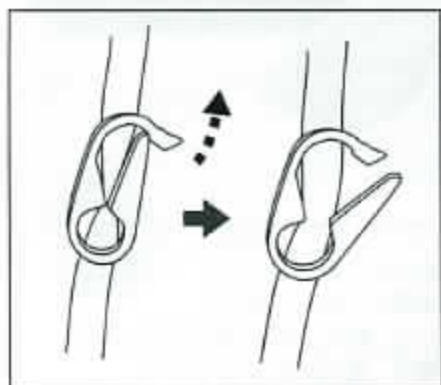
4. 尿（水）400 ccをディスポカップなどの適当な容器に入れ、イルリガートに注入し、イルリガートの蓋をして、点滴スタンドにつるします。

（導尿実習を行う場合）



5. 給水用ホースのチューブコックを開くと膀胱に尿（水）が給水されます。

（導尿実習を行う場合）



6. これで準備終了です。



1 実習の手順・ご注意

1. 尿道口の消毒

尿道口の消毒実習は消毒薬の代わりとして水をご使用ください。

2. カテーテルの挿入と固定

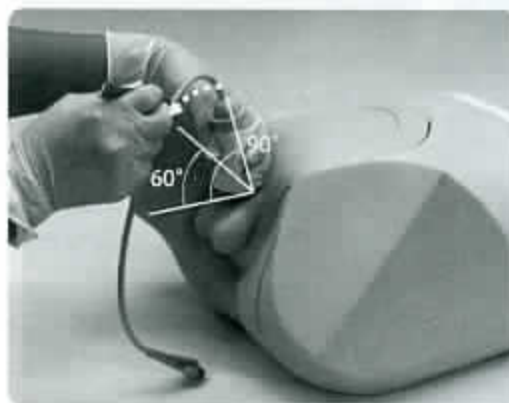
カテーテルを挿入するときは、必ず潤滑剤を十分に塗布してください。不十分だと挿入が困難になります。潤滑剤は付属のものをご使用をください。ゼリー状の潤滑剤などは内部で乾燥凝固して残留する事がありますので使用しないでください。



.....

カテーテルは 14 ~ 16Fr を使用してください。
(男性導尿は 16Fr を推奨)
16Fr よりも太いカテーテルを使用しますと、弁の消耗が通常よりも早くなります。
カテーテルを必要とされる長さよりも深く挿入しないでください。弁の消耗が通常よりも早くなります。

陰茎を 90 度近くまでまっすぐに持ち上げた状態で尿道口からカテーテルを 15cm ほど挿入してください。その後 60 度まで角度を下げて、さらに挿入してください。尿道口から約 23cm 挿入すると、尿（水）が排出されます。膀胱留置をする場合は、さらに 2cm 挿入してからバルーン内に滅菌精製水を注入してください。



膀胱留置カテーテル演習の際、サージカルテープでのテープ固定が可能です。



.....

テープを貼ったままの状態では片付けないでください。長時間貼ったままの状態にすると、シミュレータの表面にテープの粘着剤が吸着し、ベタつきがとれなくなってしまいます。



3. カテーテルの抜去

膀胱留置カテーテルを引き抜く前には、バルーンに入れた滅菌蒸留水をしっかり抜いてください。不十分だと弁が破裂する事があります

カテーテル実習を連続で行う場合

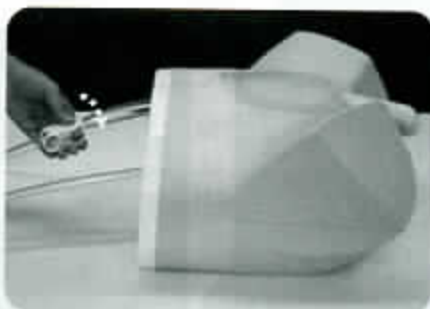
カテーテル実習 2 回目以降はその都度水の追加を行います。
チューブコックを開けた状態でイルリガートルに水を満たし、満タンになったら、チューブコックを閉めてから実習を行って下さい。水を入れない場合、尿がでなくなります。

2 導尿残尿処理実習の注意事項

残尿処理の演習の際は、給水用・排水用ホース両方のチューブコックを閉じてください。



イルリガートル側のホース
のチューブコックを閉じる

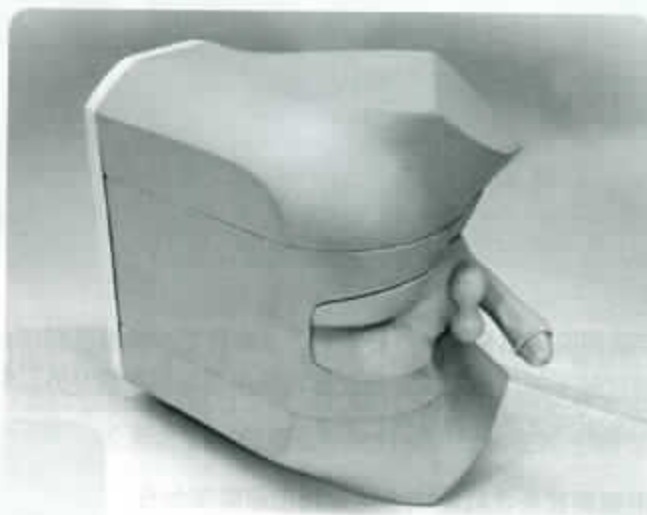


排水ホースのチューブコックを
閉じる



3 実習中の注意事項

左側臥位で実施してください。



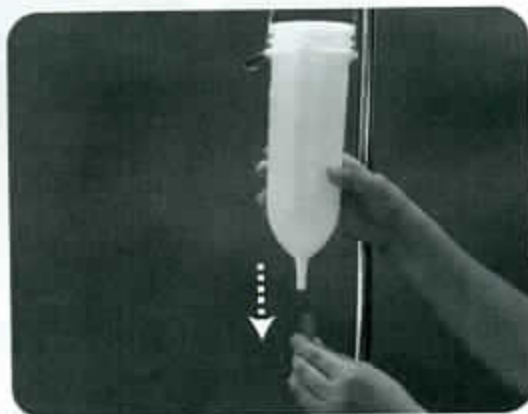
注意

.....
浣腸液のチューブを挿入するときには必ず潤滑剤を十分に塗布してください。
不十分だと挿入が困難になることがあります。チューブに潤滑剤を塗布する際、
潤滑剤は付属のものをご使用願います。

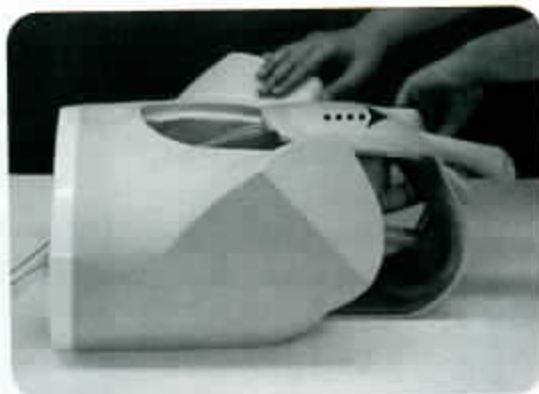
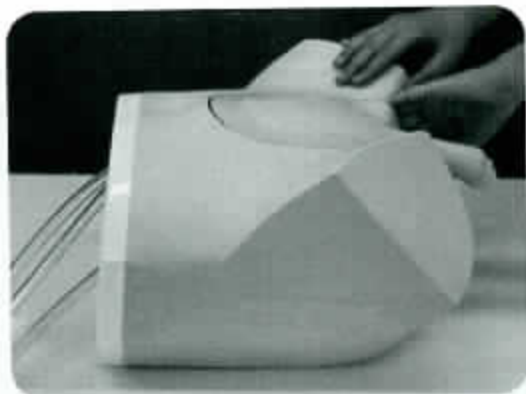
チューブを7cm以上挿入すると、直腸前壁にあたり、挿入できないよう
になっています。

1 使用した水の排出

1. 給水用ホースにあるチューブコックを開けてください。イルリガートルと排水用チューブに水が残っている場合は廃棄してください。給水用ホースからイルリガートルを取り外してください。

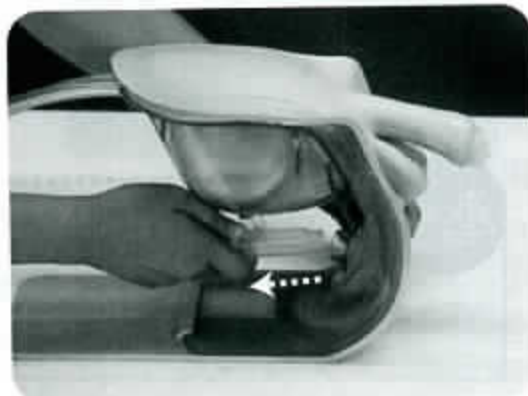


2. 腰部モデル本体から性器部ユニットを取り外します。
腰部モデル本体の大腿部を外側に開けるようにして隙間を作り、手を挿入し、腰部モデル本体から性器部ユニットを取り外します。



3. 浣腸用直腸部を取り外します。（実習で浣腸用直腸部が取り付けられている場合）
膀胱部下部にあるフックから浣腸用直腸部を取り外し性器部ユニットの接続していた直腸部をホースごと取り外します。

浣腸実習をされた場合は浣腸用直腸部から排水ホースを取り外して、それぞれ洗浄した後充分に乾燥させて下さい。

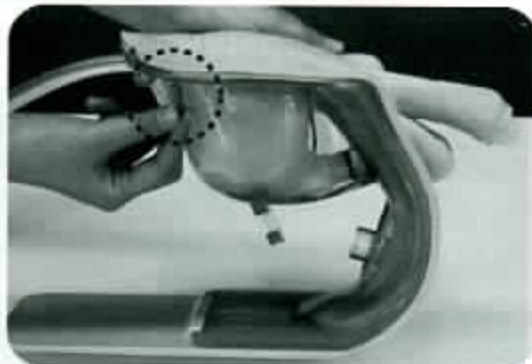


2 膀胱部及びチューブ内の水の排出

1. 性器部ユニットの構成部品を取り外します。

(ア) 性器部カセットと膀胱部カセットとを固定しているネジを反時計回りに回転させ取り外します。

(イ) 次に片手で膀胱部カセットごと性器部皮膚を持ち、性器部カセットの端を軽く持ち上げ性器部カセットとの間に隙間をつくり、性器部カセットから取り外します。



(ウ) 性器部皮膚をめくると尿道口が見えてきますので、弁部で尿道口をおさえているクリップを指ではさんでゆるめ尿道口をはずします。



2. 膀胱部を膀胱部カセットより取り出して、2本のホースをはずします。最後に弁を反時計回りに回転させ取り外します。作業は膀胱部に残った水がこぼれる可能性がありますので、洗面台など水が廃棄できる場所で行ってください。付着した水分や潤滑油を拭き取ってから充分乾燥させてください。

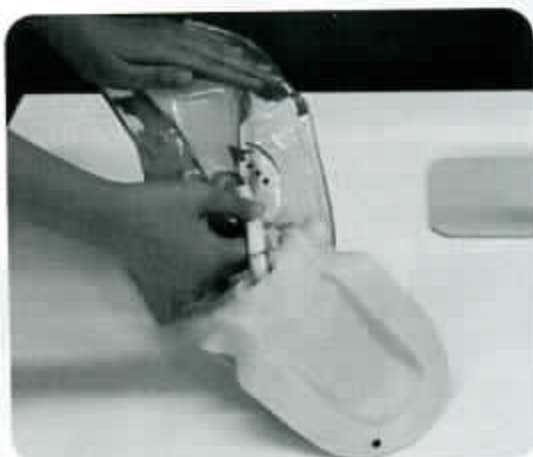


③ 保管のための構成部品を組み立て

1. 膀胱部に弁を時計回りに回転させ取り付け膀胱部を膀胱部カセットにセットします。



2. 次に尿道口を弁に差し込み、弁部分から尿道口が抜けないように指でクリップをはさみ、尿道口と弁をしっかり固定してください。その後膀胱部カセットの溝にそって性器部皮膚を取り付けます。



注意

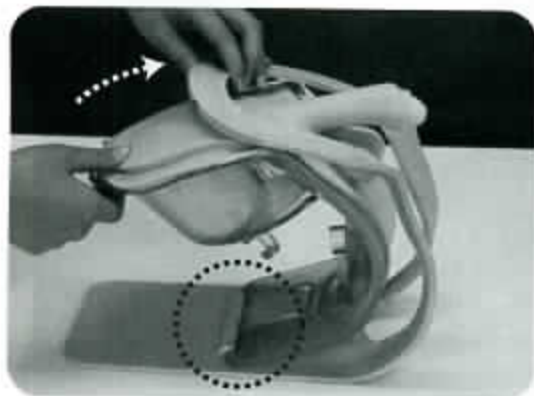
.....
実習終了後に、消耗した弁や尿道口、性器部皮膚を交換される場合は、このタイミングで新しい部品と交換してください。尿道口や性器部皮膚の交換についてはP16「③尿道口・性器部皮膚の交換」を参照し部品の交換を行ってください。

③ 保管のための構成部品の組み立て

3. 性器部カセットを取り付けます。

(ア) 性器部カセットの下部のツメ部分に膀胱カセットをひっかけ前方に押し込みます。

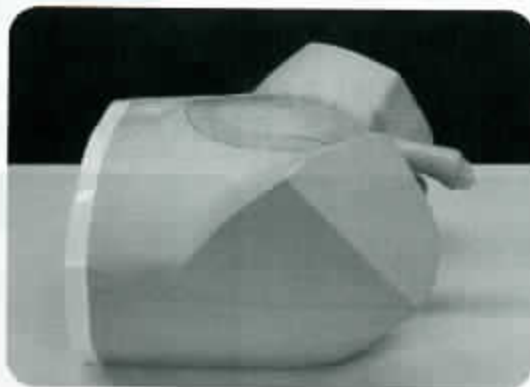
(イ) 上の部分を隙間がないよう性器部カセットにしっかりとめ込んでください。



(ウ) 膀胱カセット下部より固定ネジを差し込み、時計回りに回転させねじ込み、カセットどうしをしっかりと固定してください。



4. 性器部ユニットを腰部モデル本体に取り付けます。



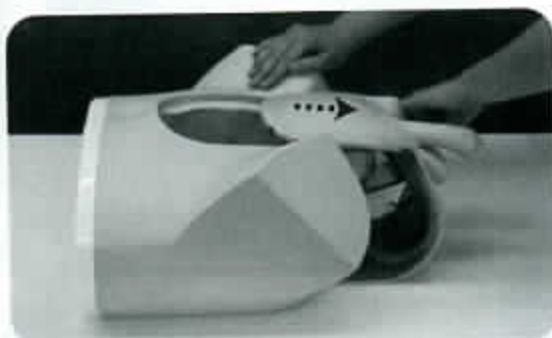
性器部皮膚・導尿口・弁の交換

ここでは、保管されている状況のシミュレータの消耗品交換の手順を説明しています。
実習後に消耗品の交換をされる場合は P11 ~ 14 の後片付けのページを参照ください。

1 構成部品を取り外し

1. 腰部モデル本体から性器部ユニットを取り外します。

腰部モデル本体の大腿部を少し外側に開けるようにして隙間をつくり、手を差し入れて腰部モデル本体から性器部ユニットを取り外します。



2. 性器部ユニットの構成部品を取り外します。

(ア) 性器部カセットと膀胱部カセットを固定しているネジを反時計回りに回転させ取り外します。

(イ) 次に片手で膀胱部カセットごと性器部皮膚を持ち、性器部カセットの端を軽く持ち上げ、性器部カセットとの間に隙間をつくり、性器部カセットから取り外します。



(ウ) 性器部皮膚をめくると尿道口が見えてきますので、弁部で尿道口を固定しているクリップを指ではさんでゆるめ、尿道口を弁部より抜き取り性器部皮膚ごと取り外します。



2 尿道口・性器部皮膚の交換

尿道口や性器部皮膚の交換は性器部皮膚の先端の皮をめくって、中の尿道口部を引っ張り取り出して交換してください。



注意

尿道口や性器部皮膚のみを交換される場合は、このタイミングで新しい部品と交換し、P-17-18の手順に沿って部品をセットしてください。

3 弁の交換

1. 膀胱部カセットより膀胱部を取り出し、尿道口部を弁から取り外します。



2. 次に膀胱部から弁をはずします。弁は反時計回りに回転させはずします。



3 弁の交換

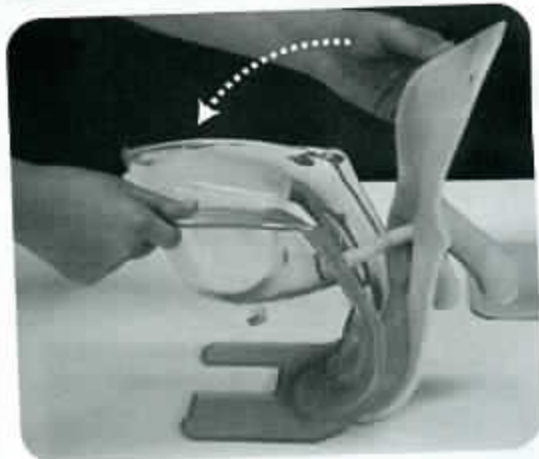
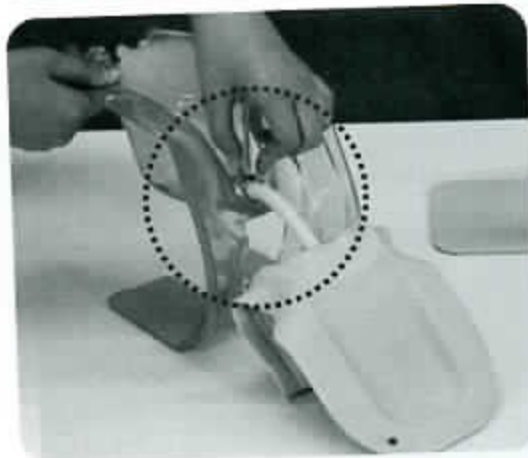
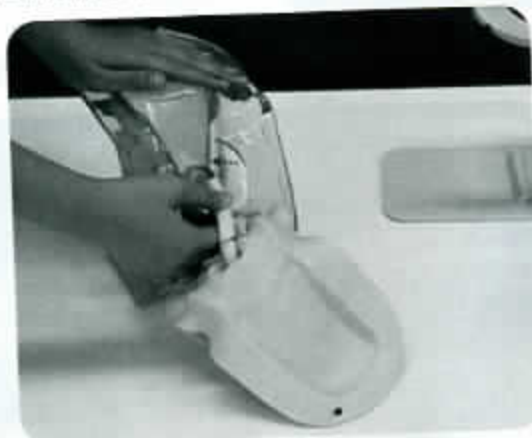
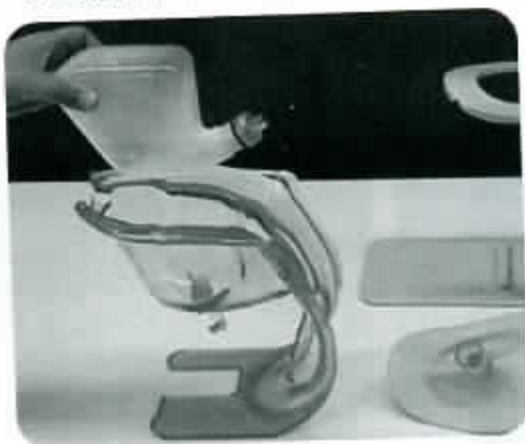
3. 新しい弁に交換し、改めて弁を時計回りに回転させ膀胱部に取り付けます。



.....
新しい弁に交換される場合は、黒いパッキンが弁側のネジ部に差し込まれていることを確認してから、弁を膀胱に取り付けてください。

4 構成部品の組み立て

1. 膀胱部を膀胱部力セットにセットします。次に弁に尿道口を差し込み、弁部分から尿道口が抜けないように指でクリップをはさみ、尿道口と弁をしっかり固定してください。その後膀胱部力セットの溝にそって新しい性器部皮膚を取り付けます。

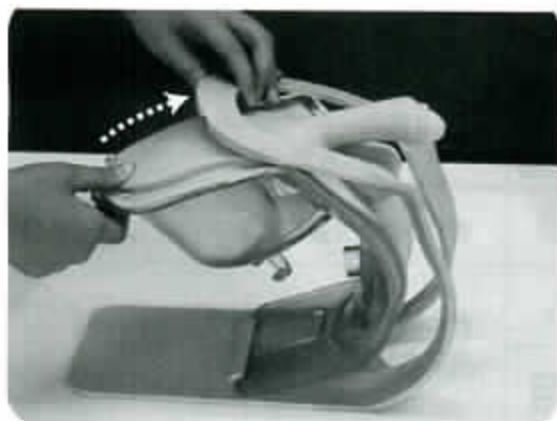


4 構成部品の組み立て

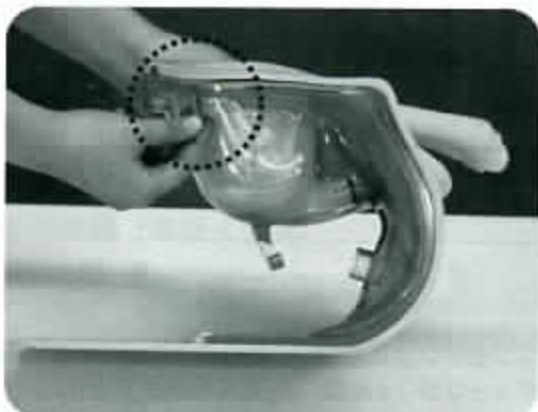
2. 性器部カセットを取り付けます。

(ア) 性器部カセットの下部のツメ部分に膀胱カセットをひっかけ前方に押し込みます。

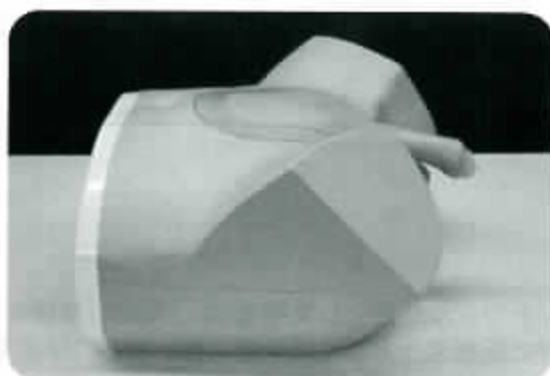
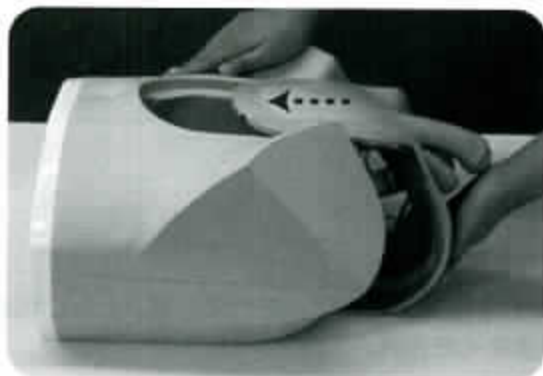
(イ) 上の部分を隙間がないよう性器部カセットにしっかりとめ込んでください。



(ウ) 膀胱カセット下部より固定ネジを差し込み、時計回りに回転させねじ込み、カセットどうしをしっかりと固定してください。

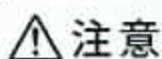


3. 性器部ユニットを腰部モデル本体に取り付けます。これで消耗部品の交換は完了です。



注意

.....
今回の導尿シミュレータは弁の耐久性が向上しましたが、実習時は弁の劣化を抑えるため、推奨の 14Fr ~ 16Fr のカテーテルをご使用ください。

**注意**

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにして下さい。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

故障かな？と思ったら 修理依頼前の確認

ご使用中にトラブルが発生した場合は、下の表にしたがって確認して下さい。それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店もしくは(株)京都科学（TEL075-605-2510 又は 03-3817-8071）までご連絡ください。

導尿

症 状	原 因	対策・対処
水が漏れる。	弁が消耗している。	新しい弁と交換してください。
	弁と膀胱部の接続が不十分。	弁と膀胱部が確実に接続できるよう、セットし直してください。
	弁と尿道部の接続が不十分。	
カテーテルを挿入しても水が出てこない。	膀胱部に水が溜まっていない。	400ccの水を尿（水）補給用ボトルに注いでください。
	チューブコックが閉じてある。	チューブコックを開放し給水してください。

浣腸

症 状	原 因	対策・対処
グリセリン浣腸液のチューブが7cm以上挿入できる。	性器部ユニットと浣腸用直腸部との接続が不十分。	性器部ユニットと浣腸用直腸部が確実に接続できるよう、セットし直してください。

ご使用中にトラブルが発生した場合は、上記の「故障かな？」を御覧ください。それでも解決しない場合はお買い上げの販売店、もしくは下記（株）京都科学まで御連絡ください。



株式会社 **京都科学**

URL ● <http://www.kyotokagaku.com>
e-mail ● rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp



■本社・工場

〒612-8388 京都市伏見区北寝小屋町15番地
TEL:075-605-2510 (直通)
FAX:075-605-2519

■東京支店

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目26番6号
NREG本郷三丁目ビル2階
TEL:03-3817-8071 (直通)
FAX:03-3817-8075